

東海道五十三次と富嶽三十六景展



広重

“大江戸八百八町の響き”杵屋五司郎～三味線トークライブ

日時: 4月30日(日) 13:30～14:30
 会場: 東京富士美術館 ロビー
 出演: 杵屋五司郎(三味線) 簗田弘大(三味線) 内田ゆう子(ピアノ)

内容: 400年の伝統誇る「歌舞伎」。江戸情緒あふれる「長唄の三味線」。風情ただよ「虫の音」「屋形船」「新内」や勸進帳、神田の祭り、江戸時代のラブソングなど紹介。超絶技巧やピアノとの競演も披露! “日本人の心”呼びさます“邦楽界の快男児”杵屋五司郎トークライブ。お楽しみください!

演目: 大薩摩幕間三重(虫、佃、新内の合方)、
 神田祭(作曲/杵屋六四郎、吉住小三郎)、明の鐘、勸進帳(作曲:杵屋六翁)、
 三味線コンチェルト(作曲:長沢勝俊、ピアノ:内田ゆう子)



三味線 杵屋 五司郎(きねや・ごしろう)

1956年稀音家六市の次男として熊本県に生れる。74年より杵屋五三吉氏に師事。78年日本音楽集団に入団。79年長唄如葉会を結成。80年東京芸術大学卒業。長唄東音会入会。90年には日本音楽集団で第20回モービル音楽賞受賞。97年、人間国宝・三代目杵屋五三郎氏より杵屋五司郎の名を頂く。

日本各地で演奏活動の他、ニューヨークフィル定期演奏会(94年アメリカ)、韓国ユネスコ全国大会(99年韓国・全州)、世界的パーカッション奏者エブリン・グレンニー氏とのツアー(99年アメリカ)、野村万作氏との中国公演(01年北京・上海)、プラハの春音楽祭(01年チェコ)等に出演・共演をはじめ海外公演多数。

現在、東京芸術大学・昭和音楽大学・松徳学園の講師として“後進の育成”に尽力。00年からは、一般の方々にもっと邦楽器に親しんでもらいたいと「21世紀“和”のスクール」(熊本・博多・矢部)を開設し「邦楽普及」にも全力で取り組んでいる。

また松江市の邦楽振興にも協力。03年から取り組んだ「三味線トーク・ライブ」は、3年間で53回、一万人以上の動員を数える。その地域に根差した活動が評価され06年4月には「松江観光大使」に任命された。06年6月には、自作曲CD「松江舟歌」(歌:長山洋子)がビクターよりリリースされる。

06年2月にジャズラック主催「オーケストラが待っている」コンサートにて山陰フィルと「三味線コンチェルト」を共演、大好評を博す。

06年は、国立劇場、博多座、アメリカ大使館、博多どんたく、はじめ全国各地で公演予定。

“日本人の心”呼びさます“邦楽界の快男児”として、東奔西走で活躍中!

長唄東音会、日本音楽集団、長唄如葉会、杉の會、所属。裏里会主宰。

作曲作品「楓の大樹」「JAPAN」「寿の調べ-神々の宴」他、多数。

三味線(助演) 簗田 弘大(みのだ・こうだい)

1983年三味線演奏家の父・杵屋五司郎と母・日吉静永の長男として東京で生まれる。91年尚美学園子供音楽科に入学。93年同学園作曲コンクールにて最優秀賞受賞。06年東京藝術大学(長唄三味線専攻)卒業。これまでに、長唄三味線を杵屋五三吉・杵屋五吉郎、長唄を稀音家六静世、東音西垣和彦の各氏に師事。

98年フランス・パリ、01年タイ・バングラデシュ、03年韓国で海外演奏。03年kanonCD「世界に花束を」に参加。04年波田陽区CD「ギター侍のうた」ツアーにてライブやTV番組(ミュージックステーション等)に出演。05年TVドラマ「タイガー&ドラゴン」に音楽参加、内田ゆう子CD「音景色」に参加。

05年サントリーホール主催「レインボー21デビューコンサート」にて「三味線コンチェルト」を新編曲版にて初演。

06年には、現代美術の第一人者「伊藤隆道」展覧会イベント(芸大内美術館)にて、同氏のモニュメントと自作曲「冬の朝」をコラボレーションし好評を博す。5月札幌でも公演予定。

日本音楽集団所属。“goes on”メンバー、「モダンエイジ」三味線講師。



ピアノ 内田 ゆう子(うちだ・ゆうこ)

国立音楽大学ピアノ科卒業。ドイツ・デュッセルドルフでクラシックピアノをドレクセル教授に、ニューヨークでは、マンハッタンヴィル大学・ウェストチェスター音楽院にてジャズピアノを学び、各地で国際交流を目的とした「サウンドブリッジ コンサート」を企画、出演。

現在は、幅広いレパートリーでのコンサートや、作・編曲等で活動中。クラシックピアノをベースにジャズのエッセンスを加え、ジャンルを超えた「オリジナル曲」や「アレンジ曲」など多数の作品がある。

05年には、CD「音景色 Soundscape Japan」(邦楽とのコラボレーションアルバム)をリリース。